

サレジオ同窓会日本連合 2023年度 臨時役員会 @オンライン+目黒 議案・コメント

2023年10月11日(水)～10月24日(火) @オンライン (Googleドライブを利用)

記入者： 横山 伸也 (連合理事/サレジオ学院同窓会副会長)
長沼 宗久 (連合WT広報リーダー/サレジオ学院同窓会)
酒井 秀光 (連合理事/日向学院同窓会常任理事/東日本同窓会会長)
篠原 博行 (連合理事/日向学院東日本同窓会副会長)

2023年10月28日(土) 14:00～15:00 @目黒サレジオ修道院 幼稚園本館1階会議室

出席者： 奥山 勇人 (連合副会長/育英学院同窓会会長)
浦元 孝照 (連合副会長/日向学院同窓会会長)
倉知 恒久 (連合副会長/サレジオ学院同窓会会長)
下ノ本 拓也 (連合副会長・WT/サレジオ小学校中学校同窓会会長)
由良 公一 (連合理事/育英学院同窓会副会長)
林 智 (連合理事・WT/育英学院同窓会副会長)
鈴木 ちひろ (連合理事・WT/育英学院同窓会副会長)
榎木田 大資 (連合理事/日向学院同窓会副会長)
篠原 博行 (連合理事・WT/日向学院東日本同窓会副会長)
仁賀 慎二 (連合理事/大阪星光学院同窓会常任理事/東京星光会顧問)
矢本 浩教 (連合理事/大阪星光学院同窓会常任理事)
長岡 洋一 (連合理事/サレジオ学院同窓会顧問)
横山 伸也 (連合理事/サレジオ学院同窓会副会長)
青木のりお (連合理事/サレジオ学院同窓会副会長)
三島 圭介 (連合理事/サレジオ学院同窓会常任幹事)
北村 圭一 (連合監事/サレジオ学院同窓会副会長)
濱口 秀昭神父 (連合顧問/サレジオ会日本管区長)
三島 心神父 (連合顧問/サレジオ会同窓生担当)
立石 光洋 (連合事務局長・WT/サレジオ学院同窓会常任幹事)
大川 千寿 (連合事務局・WTキャプテン/大阪星光学院同窓会/東京星光会学年幹事)
<役員37名のうち出席20名、委任状8名、合計28名>

1. 開会挨拶、「サレジオ同窓生の約束」唱和 (倉知連合副会長)

本日の会場である目黒・碑文谷は、サレジオ学院発祥の地、私自身が学んだ母校の場所であり、50年ぶりにやってきて、大変感慨深い。

コロナ禍を経て、皆さんと再会できることを心から喜んでいる。

発足の準備会から数えると10年近く経過し、連合も大きな節目を迎えている。この間、WTを中心に議論を重ねてもらい、本日は新たな第一歩を記す機会となる。

ここまで連合が発展したのも、長く会長を務めてくださった吉田会長の卓越した指導力のおかげである。心から感謝申し上げたい。

2. 参加者紹介、定数確認、資料確認 (立石事務局長)

資料に基づき、立石事務局長より参加者の紹介が行われた。

出席者の理事は20名、委任状提出理事は8名、合計28名で、役員会の定足数に達し、会議が成立していることを確認した。

3. 議長・書記の選出

本臨時役員会の議長として、倉知副会長を、また、書記として大川事務局員を全会一致で選出した。

4. 議事

【議案1】規約改正について（前回役員会より継続審議）

★資料「規約2023改正案」参照

・2015年に同窓会日本連合が正式発足してから8年が経過しましたが、新型コロナウイルスの世界的蔓延により、この3年間は活動や計画を大幅に縮小・変更せざるを得ませんでした。この機会にアフターコロナを見据え、組織の持続可能性強化と活性化、特に若手が中心となって活動できるよう、連合の新たなスタイルやビジョンについて「今後の展望案」を検討してきました。

・具体的な方策として、連合会長および役員任期を2年ごとの輪番制とし、各同窓会役員から選出する役員約半数を概ね40代以下の者とするよう努めることで、より多くの同窓生が連合の活動に関わる機会が増え、連合ならびに各同窓会の活性化につながるのではないかと、との考えに至っています。

・この計画の実現のためには、規約の改正が必要です。また、現規約では役員任期を最長連続9年としており、今年度中に規約を改正し、新役員を選出する必要があります。具体的な改正案は、資料「規約2023改正案」をご覧ください。

・輪番制の順番（修正案）は次の表のとおりです。

年度	2024-2025	2026-2027	2028-2029	2030-2031	2032-2033
会長（1名）	横浜	育英	日向	小平	大阪
副会長（2名）	育英・小平	日向・大阪	小平・横浜	大阪・育英	横浜・日向
理事（若干名）	日向・大阪 ほか若干名	小平・横浜 ほか若干名	大阪・育英 ほか若干名	横浜・日向 ほか若干名	育英・小平 ほか若干名
監事（2名）	2名	2名	2名	2名	2名

（参考）前回役員会での意見（2023年6月15日～7月1日のオンライン会合）

- ・輪番制で各同窓会が担当することは組織として良い。事務局にはその分負担がかかる。
- ・連合会長および役員を2年毎の輪番制とすることについて異論はない。
- ・規約改正案については役員人数が半数以下と成り、小回りがきく様になるのには賛成。
- ・役員人数減によりスリムになる点は賛成。
- ・「役員約半数を概ね40代以下の者とするよう努める」とあるが、様々な事業者に雇用されている形態が多く、当該の活動に自由な立場で時間配分が出来ない状況を踏まえ、当同窓会役員も44才以下がいない。
- ・役員を概ね40代以下の者とするよう努めることについて、現時点では厳しい状況だが、若手が出てくることを期待している。

（参考）WT会合での意見（2023年9月30日のWT会合）

- ・理事会をスリム化するという方向性については賛成である。
- ・理事は、実働可能な者とし、各種プロジェクトの推進役を担える者とする。

- ・日向学院と大阪星光学院については、本部同窓会のほか東日本同窓会から少なくとも1名選出する。
- ・監事は、会長担当同窓会以外から連合役員経験者を2名、選出する。（WTから打診）
- ・これまでの連合役員・顧問・WT経験者は、オブザーバーとして各種会合に参加することができる。
- ・従来の「若手を中心とするWTが活動の企画・運営を担い、役員会にて検討・承認する」方針を今後も継続する。
- ・今後は連合の目的を達成するための各種プロジェクトについて、同窓生に広く参加を呼びかけ、多くの同窓生に開かれた活動を展開したい。予算や連携・支援等が必要な場合は、役員会で検討し、プロジェクトを支援する体制を整えたい。
- ・会長担当同窓会の学校を会場に、2年ごとにオブザーバーや各種プロジェクト参加メンバーを含めた総会を開催してはどうか。隔年で順に5校を回ることによって学びや交流の機会となる。
- ・世界連合では「若者と共に歩む」というドン・ボスコの精神にもとづき、青年部（GEX = Giovani Exallievi、30歳未満の同窓生）とシニアからそれぞれ、副会長および地域担当評議員等が選出される。世界およびアジアの会合も青年部とシニアから代表者が参加し、グループ討議するスタイルとなっている。日本では青年部を30歳未満とするのは現実的でないため「概ね40代以下」とし、世界連合の了承を得ている。

・オンラインでのコメント

【サレジオ学院 横山】 設立から8年、コロナもありましたが、事務局のご努力で連合のフレームワークができあがりました。これから活動も少しずつ増やしていくためにも、今回の規約改正が一層各同窓会のつながりを強くするようになると思います。

【日向学院東日本同窓会 酒井・篠原】 賛同いたします。

<10/28臨時役員会での審議>

資料「規約2023改正案」に基づき、立石事務局長より規約改正案と関連の事項について説明があり、全会一致で承認した。

<主な内容>

- ・連合役員を各同窓会役員から選出し、2年ごとの輪番制とする。
- ・役員のうち半数程度を40代以下の若手とするよう努め、人材の循環を図る（世界連合の役員が青年部（30代未満）とシニアからそれぞれ選出されていることも考慮）。
- ・サレジオ会学校長は顧問から外れる。
- ・これまで連合に関わった役員・顧問等の経験者には、今後もオブザーバーとして会合に参加いただけるよう、お声がけする。
- ・WTについては、今後も継続する。

【議案2】次期役員選出について（審議）

★資料「2024-2025年度 役員名簿（案）」

（参考）WT会合での意見（2023年9月30日のWT会合）

- ・次期役員の選出数（各同窓会役員から2名以上、合計10名程度とする）
 - 横浜： 連合会長1名、理事1名 ～
 - 育英： 連合副会長1名、理事1名 ～
 - 日向： 理事 宮崎1名、東日本1名 ～
 - 小平： 連合副会長1名、（できれば理事1名）

- 大阪： 理事 大阪1名、東京1名 ～
・ 監事： 育英と大阪より連合役員経験者を各1名選出いただけないかWTより打診する。

<10/28臨時役員会での審議>

議案1で承認された改正後の規約の内容に基づき、各同窓会から選出された連合役員案（2024-2025年度）を検討し、全会一致で承認した。

新役員会は、横山会長（サレジオ学院同窓会）、奥山副会長（育英学院同窓会）、下ノ本副会長（サレジオ小学校中学校同窓会）をはじめとする計14名の役員（会長・副会長・理事・顧問・監事）で構成され、うち5人が40代以下である。

選出を受け、横山次期会長より挨拶があった。

サレジオ同窓会日本連合 2024-2025年度 役員 （☆ = 40代以下）

会長	横山 伸也（サレジオ学院同窓会 副会長）
副会長	奥山 勇人（育英学院同窓会 会長）
副会長	下ノ本 拓也（サレジオ小学校中学校同窓会 会長）☆
理事	三島 圭介（サレジオ学院同窓会 常任幹事）
理事	立石 光洋（サレジオ学院同窓会 常任幹事）☆
理事	鈴木 ちひろ（育英学院同窓会 副会長）☆
理事	榎木田 大資（日向学院同窓会 副会長）☆
理事	篠原 博行（日向学院東日本同窓会 副会長）
理事	吉見 秀夫（大阪星光学院同窓会 副会長／東京星光会 会長）
理事	大川 千寿（大阪星光学院同窓会／東京星光会 学年幹事）☆
顧問	濱口 秀昭 神父（サレジオ会 日本管区長）
顧問	三島 心 神父（サレジオ会 同窓生担当）
監事	河村 英和（育英学院同窓会 顧問）
監事	仁賀 慎二（大阪星光学院同窓会 常任理事／東京星光会 顧問）

【議案3】2025年アジア・オセアニア地域大会について（協議）

- ・ 2023年5月13～14日、ベトナム・ダラットでサレジオ同窓会世界連合評議会が開催されるのに合わせ、アジア・オセアニア地域代表者会議が開催されました。
- ・ 参加資格は同窓会担当サレジオ会員・連合会長・青年部代表となっており、日本連合からは顧問の三島心神父と大川千寿WTキャプテンが出席しました。
- ・ 全体討議やグループ別での分かち合いを通して、世界連合と各国連合、また各国連合間、連合内で、協力・連携を深める大切さを分かち合いました。また、アジア・オセアニアの文化的多様性に留意しながら、ビジネスや就労面でのネットワークづくり、英語や技術の習得の支援、生徒や学生の交換留学プログラムの形成など、地域内における協力の具体的な取り組みについても検討し、最終日に会議の決議を採択しました。
- ・ 今回の会議の席で、2025年に同窓会連合アジア大会を日本で開けないかという内々の打診がありました。アジア・オセアニア地域大会は2020年度に日本での開催を予定し、コロナ禍のため中止となっておりました。日本連合として今年中をめどに、可否についてご検討いただければと存じます。

（参考）WT会合での意見（2023年9月30日のWT会合）

- ・2020年に中止となった日本での開催案は、参加人数100人、会場は調布サレジオ神学院（個室または相部屋）で3泊4日、参加費500ドル（宿泊・食事・ツアー代・空港送迎込）との計画で世界連合役員の承認を得ていた。
- ・民間ホテルを会場とする案も準備したが、世界連合役員およびアジア地域代表者からの「学校等の施設を利用し、参加費は500ドルが上限」という条件を満たせず断念した。
- ・相部屋のプランは、コロナウイルスが世界的にまだ収束していない現状や、十分におもてなしできないことを考えると、ふさわしくないのでは。
- ・従来のアジア大会では空港での出迎えが必須だが、アジア各地からの便は成田空港を利用する可能性が高く、成田と羽田への送迎体制を整えることは困難。
- ・当日だけでなく、ビザ申請書類の作成やりとりや各種準備・設営など、前もって・連合役員、各同窓会の所属企業・団体等のつながりから、研修施設等を借用できる可能性はないか。
- ・まずは「やれない」ということではなく、今後のことも考えて、やれるとすればどうするかも考えてみてはどうか。
- ・アジア大会や世界大会に参加した経験者が少なく、大会運営のイメージがつかめていない。まずは他の国で開催される大会になるべく多くのメンバーが参加・視察し、日本で開催する可能性について改めて検討したほうがよい。
- ・連合役員、各同窓会の所属企業・団体等のつながりから、研修施設等を借用できる可能性はないか。
- ・参加人数が30名程度のアジア地域代表者会議であれば、日本で開催する可能性も考えられる。（山中湖のサレジオン・シスターズの研修施設を利用するなど）

・オンラインでのコメント

【日向学院東日本同窓会 酒井・篠原】 本邦での開催を考えると参加費500ドル（宿泊・食事・ツアー代・空港送迎込）程度の費用では開催困難である旨お伝えする。更に参加人数についても100名ではなく30名程度に絞り込み山中湖のサレジオン・シスターズの研修施設利用について検討いただければと思う。

<10/28臨時役員会での協議>

大川事務局員より、2023年5月に開催されたアジア・オセアニア地域代表者会議について報告がなされると共に、その際に内々に打診された、2025年アジア・オセアニア地域大会の日本開催の可能性についてこれまでの検討状況について共有され、協議を行った。概ね以下の意見が出され、年内に開催可否について回答する方向で引き続き検討することとした。

<意見>

- ・2020年にアジア・オセアニア地域大会を開催するにあたっては、参加費が500ドルとの計画で世界連合役員の承認を得ていた。日本において、この予算内で、3泊4日の日程でホテルを借りるのは難しい。一方、アフターコロナにあって、雑魚寝や相部屋での宿泊でよいのかということを検討する必要がある。
- ・現時点では時期尚早ではないか。日本で開催する前に、まずはアジア大会の雰囲気やみんなまで体験してから検討する形でよいのではないか。
- ・以前、イタリアでの世界連合の会合に参加した。世界の人々と触れ合え、とてもよい体験だった。2025年には大阪万博があるので、それに合わせて、大阪で開催するのはどうか。大阪星光学院同窓会の理事会でも提起していきたい。

- ・東ティモールでのアジア大会は250名参加。会議でドン・ボスコという共通項をもった同窓生と知り合えたのは非常に素晴らしい体験だった。
- ・予算の制約、また、外国のような教会に付属した宿泊施設も少ない日本では、課題は小さくないのではないかと。30名程度の地域代表者会議であれば開催可能ではないかと。

【議案4】2026年サレジオ会来日100周年 同窓会での取り組みについて（協議）

- ・日本のサレジオ会は2026年2月8日に来日100周年を迎えます。その準備期間が始まっており、今年は特に歴史を振り返ることがテーマとなっております。それぞれの学校の歴史も日本のサレジオ会を形作ってきた大切なものであることは間違いありません。同窓会連合としても、学校を創り支えてくれたサレジオ会員や教職員の方々、そしてすべての卒業生のつながりを振り返りつつ、今を見つめ、未来への発展を願いながら、共に歩いていくことを願っております。（前回役員会 三島心神父の顧問挨拶より）
- ・同窓会連合としても、サレジオ会来日100周年を迎えるにあたり、各学校の歴史を学び、事業を受け継いできたサレジオ会員や協働者の思いを共有し、未来へとつなぐ良い機会となります。100周年を共に記念するためのアイデアについて、ご意見をお願い致します。

（参考）WT会合での意見（2023年9月30日のWT会合）

- ・WTでは、同窓会創立150周年記念グッズ（コロナ禍で中止）や今後の展望案（下記参照）を検討してきた。これらのアイデアをベースに、サレジオ会来日100周年とからめて実行に移したい。具体的には例えば以下のアイデアがある。
- ・同窓会連合は、ドン・ボスコに当時の教え子たちが感謝を表すことから始まった。この100周年を、歴代のサレジオ会員や恩師に感謝を表す機会とできればよい。
- ・ドン・ボスコの精神を学ぶ： ミニ研修を役員会や各種イベント、オンライン等で開催
- ・各学校の歴史と発展を学ぶ： 学校紹介の記事を作成して連合サイトに掲載
- ・青少年の育成・支援： 各同窓会のキャリア相談・職業紹介イベントを相互招待
- ・国際交流と連携・支援： 東ティモールのコーヒー豆を活用した記念グッズの企画
- ・研鑽と国際交流： 2024年世界連合臨時総会に参加し、ドン・ボスコの精神を学ぶ

（参考）今後の展望案（活動の柱）について（前回役員会より）

- ・この3年間、連合（役員会・WT・事務局）では、アフターコロナを見据えて、また世界連合の6か年計画（2021-2026）をふまえ、今後の展望案を検討してきました。議論のポイントを整理すると、連合の「活動の柱」は次の4つにまとめられます。

①研鑽・行動・発信

ドン・ボスコの精神を学び、社会生活において実践し伝え、サレジオの価値を高める。
（研修、2026年サレジオ会来日100周年、同窓生紹介...）

②青少年の育成・支援

在校生・若手同窓生に対し、キャリア支援や多彩な社会経験の場を提供する。
（キャリア相談、職場体験、奨学金、ボランティア活動支援...）

③日本の同窓会の交流・連携・発展

同窓会の各種プロジェクトを連携して実行し、同窓会の発展に経済的にも寄与する。
（各種イベントの共同開催・相互招待、バッジ・グッズ等の頒布、寄付の呼びかけ...）

④世界の同窓会の交流・連携・発展

世界の同窓生とつながることでサレジオの価値に気づき、誇りをもって共に生きる。
（世界大会、アジア大会、東ティモールなど国際交流...）

・オンラインでのコメント

【日向学院東日本同窓会 酒井・篠原】 WT会合での意見（2023年9月30日のWT会合）で出た「各学校の歴史と発展を学ぶ」や「国際交流と連携・支援」はよいと思う。

<10/28臨時役員会での協議>

概ね以下のような意見が提起され、引き続き取り組みを検討していくこととした。

<意見>

・サレジオ小中同窓会は創立して8年だが、コロナもあり十分活動ができておらず、小中学校なので同窓会として集まる難しさがある。当初養護施設附属学校としてスタートし、キャリアに関する相談をできる人材が不足しているということもあるので、ぜひ他同窓会のご協力をお願いしたい。

・サレジオ会来日100周年については各校、同窓会でも動きがあることと思う。連合としての取り組みは、新年度からの新体制でも具体的に検討していただけるとよいのではないか。

・青少年の育成・交流を考えたい。Web会議も用いながら国際的なつながりを作っていくのはどうか。また、ホームステイを活用して宿泊してもらおうということも考え得る。

5. 意見交換

・オンラインでのコメント

【サレジオ学院 長沼】 ジャストアイデアですが、各同窓会主催の会合（サレジオ学院であれば25歳と50歳のホームカミングデー）にて、先輩達の同窓会風景、他のサレジオ兄弟校の同窓会での風景をモニターで流し、縦にも横にもサレジオファミリーが繋がっている事を認識してもらい、その後先輩達が取り組んでいる同窓会連合の簡単な紹介、活動風景についても上映してもらい、後の参加を促す。同窓会連合の存在、他の学校の存在を理解してもらい、自発的に参加してくれる人が1人でも2人でも出てくればよいと思います。

【日向学院東日本同窓会 酒井・篠原】 久しぶりの対面会合ですが、酒井は外せないイベントと重なることから参加できない。盛会を祈念しております。

<10/28臨時役員会での意見交換>

・下ノ本副会長より、11月4日に日向学院東日本同窓会会合に参加すること、また、10月21日の育英祭（サレジオ高専）にも参加したことの報告があった。今後の同窓会運営の活性化のためにも、他校同窓会との交流の中で研鑽を積みたい旨発言があった。

・大川事務局員より、10月22日の育英祭で、サレジオ同窓生の1人として出身校とは異なる学校でも学生と後輩として接することができた体験が共有され、小さなところからつながりを深めていくことの大切さについて発言があった。

・長岡理事より、以前、韓国でのアジア大会に参加した際の体験が共有され、カトリック信者の少ない日本との違いを感じたこと、また、サレジオ学院同窓会では、大阪星光学院同窓会の取り組みに学んで、毎年25・50歳の同窓会の集まりをもっている旨紹介があり、まずは日本の中で各同窓会同士の交流を深めていくことが大切で、また、年上の世代の参画も大切につつ、若手にもしっかりつないでいければよいとの発言があった。

6. 今後の主な予定（立石事務局長）

2024年1月11日 サレジオ家族合同評議会

2024年2月11日 サレジオ霊性セミナー

2024年10月3～6日 サレジオ同窓会世界連合 臨時総会@イタリア・トリノ

2025年 アジア・オセアニア地域大会
2026年2月8日 サレジオ会来日100周年

7. 連合顧問の挨拶（三島神父）

コロナ禍を経て、こうして今回対面の会合ができ、連合が新たなスタートを切れるきっかけとなったと感じている。また、私自身が居住し活動しているこの場所に皆さんをお迎えすることができ、喜ばしく思っている。サレジオのつながりを肌で感じられることは大きなこと。今後も連合の発展を祈りつつ、皆さんのご協力を心からお願いしたい。

また、これまで連合会長として大きな力をもって支えてくださった吉田会長におかれては、サレジオ同窓会のつながり、ドン・ボスコのつながりをお互いに感じられる形を作ってください、心から感謝したい。そして、新年度からは、横山次期会長のもと連合がますます発展し、より時代にあった良い形になっていくことを期待したい。

8. 閉会の挨拶（倉知連合副会長）

本日は、皆さんにとってもよい内容の議論をいただき、感謝している。かつてこの場所で学んだ者として、教会前の通りが「サレジオ通り」という名前になっていることは、うれしかった。これは、サレジオが地域の皆さんに認められた1つの証しだと思う。

本日承認された新体制のもとでも引き続きご協力いただけるよう皆さんに心からお願いし、また、改めて吉田会長のご功績に心より感謝しつつ、役員会を締めくくりたい。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

臨時役員会終了後、引き続き以下のプログラムを行った。

◆ミニ研修会 @保護者の会室

講師： 連合顧問 三島心神父

◆追悼式 @教会クリプタ（地下納骨堂）

司式： サレジオ会日本管区長 濱口秀昭神父

◆カトリック碑文谷教会 聖堂見学

説明： 大川千寿 WTキャプテン

◆懇親会 @幼稚園本館2F 保護者の会ホール

司会： 大川千寿 WTキャプテン

乾杯： 浦元孝照 連合副会長

近況報告&校歌発表： 各同窓会より

大締め： 横山伸也 連合副会長